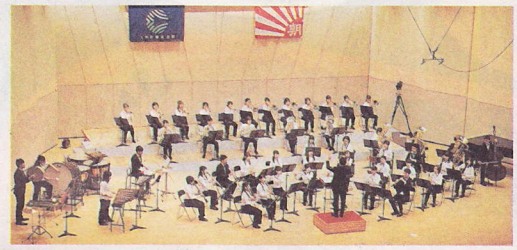
長崎大は銀賞 九州吹奏楽コン

福岡県飯塚市のイイヅカコスモスコモンで27日にあった第61回九州吹奏楽コンクール大学の部で、長崎代表の長崎大はのびのびとした演奏を披露し、銀賞を獲得した。



息の合った演奏を披露した長崎大＝福岡県飯塚市

自由曲には、沖縄の方言で太陽を意味する「てぃーだ」という曲を選んだ。部長の重留夏帆さん(21)は「とても楽しい曲。個性があって笑いの絶えない私たちの雰囲気にマッチしている」と話す。演奏後は「全員で一つになって楽しい音楽を作り上げることができました」と終始笑顔だった。（垣花昌弘）

九州吹奏楽コン 2大学が全国へ

九州情報大・福工大

第61回九州吹奏楽コンクール（九州吹奏楽連盟、朝日新聞社など主催）の大学の部が27日、福岡県飯塚市のイイヅカコスモスコモンであり、九州・沖縄各県の11団体が出場した。金賞を受けた4団体のうち、九州情報大と福岡工業大（いずれも福岡）が、10月に金沢市である第64回全日本吹奏楽コンクールへの出場を決めた。

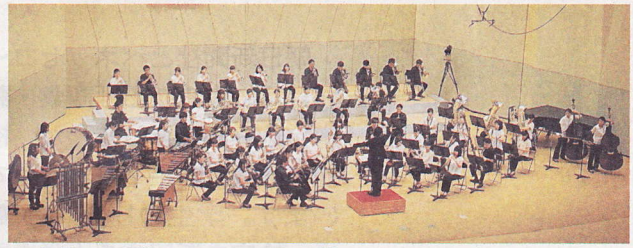
成績は次の通り。

【金賞】九州情報、福岡工業、福岡、福岡教育

【銀賞】佐賀、長崎、崇城（熊本）、別府（大分）、宮崎、鹿児島、琉球（沖縄）

「サムライ」が金賞

九州吹奏楽コン職場・一般の部



金賞を受賞したサムライブラス オルケスター＝福岡県飯塚市

福岡県飯塚市のイイヅカコスモスコモンで28日にあった第61回九州吹奏楽コンクールの職場・一般の部で、長崎代表のサムライブラスオルケスターは金賞を受賞した。

長崎大吹奏楽部のOBらが2009年に立ち上げた、20代が中心のフレッシュな団体。名前は団長の黒浜武士さん(31)からきているそうだ。

昨年は九州大会でこれまで最高の金賞を獲得。全国大会を狙った今年は約60人で臨んだ。「人数は今年が一番多い。多い方が音の厚みが出るので、団員集めに力を入れた」と黒浜さん。課題曲と自由曲は難しい曲を選んだ。「今年のテーマは『チャレンジ』」と指揮を執った足立陽平さん(31)は話す。

黒浜さんによると、全員でまとまり、ホールの中央奥に向けて音を響かせるように心がけた。「その意味で、団結することができました」と語った。(垣花昌弘)

■3団体が全国大会へ

第61回九州吹奏楽コンクール

(九州吹奏楽連盟、朝日新聞社など主催)の職場・一般の部が28日、福岡県飯塚市であり、九州・沖縄の20団体が出場した。金賞を受けた11団体のうち、ブリヂストン吹奏楽団久留米、春日市民吹奏楽団(いずれも福岡)、J・S・B・吹奏楽団(鹿児島)が、10月に金沢市である第64回全日本吹奏楽コンクールへの出場を決めた。成績は次の通り。

【金賞】ブリヂストン吹奏楽団久留米、春日市民吹奏楽団、コンフォート・ウインドアンサンブル、飯塚吹奏楽団、大牟田奏友会、北九州フィルハーモニック吹奏楽団、西区市民吹奏楽団(福岡)、佐賀市民吹奏楽団(佐賀)、サムライブラスオルケスター(長崎)、ひむかSound CLUB(宮崎)、J・S・B・吹奏楽団(鹿児島)【銀賞】天草吹奏楽団、熊本ウインドオーケストラ、熊本市民吹奏楽団(熊本)、新日鉄住金大分吹奏楽団(大分)、宮崎市民吹奏楽団(宮崎)、アンサンブル南星(鹿児島)、ウインド アンサンブル ティラミス、リバティー ウィンド アンサンブル、吹奏楽団コザ・フェスタ(沖縄)